



## 子育て環境のさらなる充実のために

私は「子育て世代ががんばれる街」をモットーに市政運営に取り組んでおり、上尾版ネウボラや子育て世代包括支援センター、子ども家庭総合支援センターなどを順次開設してまいりました。

また、待機児解消のため保育定員の拡充にも鋭意努めてまいりましたが、入所を希望する方は引き続き増加しており、本年4月1日現在の待機児童数は14人と、前年に比べわずかに減少したものの、ここ数年横ばいの状況となっています。また、発達に心配のある子どもたちが通う、つくし学園においても利用者の増加傾向から定員を超える状況が続いています。

このような状況を踏まえると、このたび、(仮)子ども・子育て支援複合施設の建設に着手できたことは、大変意義のあるものと考えています。加えて、保育所とつくし学園が併設された複合施設の整備によって、定員の確保のみならず、子どもたちの交流により、多様性を認め合い、豊かな人間性が育まれることも期待されます。

去る7月15日には安全祈願祭が行われ、いよいよ着工の運びとなりました。

施設の整備にあたっては、地域をはじめ関係する多くの皆様のご理解、ご協力をいただき深く感謝申し上げます。

来たる令和5年4月の開設を目指し、子どもたちが安心して健やかに成長できるよう、また、地域に愛される施設となるよう努めてまいります。



(仮)子ども・子育て支援複合施設  
完成予想図



安全祈願祭で関係する皆様へ  
お礼のあいさつ

市長 富士山 稔